

化学安全スクーリング 2009

—化学実験室における安全管理指導者の養成—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

会期 平成21年8月6日(木)～7日(金)

会場 化学会館会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

[交通]JR御茶ノ水駅、千代田線 新御茶ノ水駅徒歩5分

募集人員 50名

対象 化学実験をおこなう大学、研究所等の安全管理担当者、指導者。化学のみならず広く科学分野で実験活動および実験施設に関わる大学・研究所の研究者・学生ならびに技術職員。化学企業の研究所、プラント、生産現場で安全管理に関わるすべての方。

趣旨 化学実験に関わる安全と衛生に関して総合的に学ぶ講習会です。安全・衛生管理の基本から、事故事例やヒヤリハット、そこから導き出される教訓と、改善や安全教育のあり方、化学物質の潜在危険と取扱方法、救急対処法などについて、最新情報をもとに多角的な視点から解説いたします。

例年ご参加いただいている受講者各位にも一層ご理解いただけますように、応用事例や最近のトピックスを更新・充実させながら、受講者からの具体的質問・ケーススタディによるディスカッションを交えた、能動的なスクーリングとしてご活用いただきます。

第1日 10:00-17:00

10:00-10:10 開会挨拶

10:10-11:00 講演1 安全の基本 (東大工・環境安全)土橋 律

11:10-12:20 講演2 事故事例と教訓—化学実験における事故と化学物質の取扱い(消防研セ)古積 博

12:20-13:20 休憩

13:20-14:10 講演3 化学物質の潜在エネルギー危険とその取扱い(労働安全衛生総研)安藤 隆之

14:20-15:10 講演4 化学物質における混合危険と具体的事例(産総研爆発安全研究コア)松永 猛裕

15:20-16:10 講演5 実験環境・器具・装置と操作の安全 (横浜国大環境情報)大谷 英雄

16:15-17:00 意見交換会(質疑応答)

第2日 10:00-16:30

10:00-11:10 講演6 化学物質の毒性と予防および救急 (東大環境安全セ)刈間 理介

11:20-12:30 講演7 廃棄物の安全処理 (東大新領域)大島 義人

12:30-13:30 休憩

13:30-14:40 講演8 実験研究における安全管理と危機管理 (東大環境安全・元三菱化学)小山富士雄

14:50-15:40 講演9 国際的な化学品管理の動向—新たな欧州の化学品法 REACH を中心として

(日化協 REACH タスクフォース) 庄野 文章

15:45-16:30 意見交換会(質疑応答)

参加費 本会会員・法人会員 22,000 円、非会員 26,000 円。

参加申込方法 「8/6-7 化学安全スクーリング出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・E-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、申込先あて E-mail(matsubara@chemistry.or.jp)にてお申込みください。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 担当:松原・保倉

電話 03-3292-6163、FAX03-3292-6318、E-mail:matsubara@chemistry.or.jp